

獣医師会組織の充実・強化に向けて

—新入会員の確保と定着に向けた取り組み—

高橋三男[†] (公益社団法人 埼玉県獣医師会会長)



1 はじめに

今、公益法人移行の中で、獣医師会組織は、獣医師自らの努力・精進とその活動を通じて、国から預けられた獣医師免許を有する専門職業集団としての社会的責務を發揮し社会の期待に添えていく必要があり、そのためには、活動の

基盤となる会員組織の充実・強化が重要な課題である。

そのため、各地方会とも創意・工夫を凝らし会員の加入増強に鋭意努力しているところであるが、約900名の会員を擁する本会に於いても、会員構成が高齢化する中、若い獣医師の入会とともに特にその定着に向け種々取り組んでいるところであり、その活動の一端を紹介したい。

2 政・財界等、多くの参加の下に開催する新入会員歓迎行事

本会への入会者数は、毎年、20～30名程度で推移しているが、入会の都度、毎月発行する「埼玉県獣医師会報」で紹介するほか、総会に招待し、盛大な歓迎行事を

行っている。

本年度の新入会員は24名であったが、去る6月11日開催の総会で一人ひとり紹介するとともに、上田清司埼玉県知事、樋口邦利埼玉県議会議長を始め、多くの衆・参国議員や埼玉県議会及びさいたま市議会議員、更には商工関係団体や銀行等の金融機関、獣医療関係業者、また埼玉県及びさいたま市の関係部長や課・所長等、総勢200名を超える来賓が出席する中で恒例の歓迎行事を開催した。

歓迎行事では、まず、会長が一人ひとりに花束を贈呈、その後、新入会員それぞれから誓いの言葉を、また、出席された上田清司埼玉県知事及び埼玉市長会長の田中暉二久喜市長から励ましの言葉をいただいた。

続いて、会長から、「新しく入会された皆さんは21世紀を担う期待の星。我々獣医師はそのライセンスを持った者だけに許された仕事を国家から任されている。生涯を通じ、国のため、人のために頑張ってください。また諸先輩方は、時には厳しく、折に触れ優しくご指導いただきたい」との激励の言葉があり、これを受けて、新入会員の代表から「非常に多くのご来賓、諸先輩を前



図1 花束を胸に、来賓とともに(後列中央は、上田清司埼玉県知事、右へ、樋口邦利埼玉県議会議長、北村直人日本獣医師会顧問、酒井健夫日本獣医師会副会長)

[†] 連絡責任者：高橋三男 (埼玉県獣医師会)

〒330-0835 さいたま市大宮区北袋町1-340 埼玉県農業共済会館3階

☎048-645-1906 FAX 048-648-1865 E-mail: s-vma@vesta.ocn.ne.jp



図2 入会を祝して行われた「くす玉割り」



図4 埼玉県獣医師会開業会員証



図3 経験豊富な役員からの講話を聞き入る

にして、会長から直接花束をいただき、また上田知事を始め皆様から激励をいただいたこと、大変感激するとともに身の引き締まる思いである。今日の喜びを忘れずに会員として、また獣医療のプロとしての誇りを持ち続け、地域社会に貢献できるよう努力したい」との誓いが述べられた(図1)。

続いて壇上では、入会を祝した「くす玉割り」が行われ、新入会員全員と上田清司知事、樋口邦利県議会議長、日本獣医師会北村直人顧問、酒井健夫理事(現 副会長)らで「絆」の紐がひかれると、「入会おめでとう」の文字がくっきりと現れ、満場の拍手がおくられた(図2)。

その後、昨年入会した先輩会員から、「皆さんは、期待と不安の中で入会したことと思う。自分が入会してからの一年を振り返ると、会長を始め、支部の諸先輩の先生方に親身に指導していただきながら、集合狂犬病予防注射や数多くの学術講習会などにも参加でき、充実した一年であった。新入会員の皆さんも埼玉県獣医師会の一員として誇りを持ち、共に社会貢献ができるよう精進しよう」との激励があり、出席された知事や県議会議長らと一緒に記念撮影を行った後、懇親会に臨み、出席の来賓や先輩会員との交流を深めた。

3 新入会員研修会の開催

入会半年を経過した11月、毎年新たな入会者を対象に、会員として必要な獣医師会の組織や役割、活動、更

には獣医師として必要な法令や動物病院の経営問題など幅広い分野にわたり、専門の講師や県の獣医事行政担当職員並びに経験豊かな会のベテラン役員を講師に研修会を開催している(図3)。

研修会では、「埼玉県獣医師会会員憲章」唱和の後、新入会員全員を対象とする「全体研修」と、特に開業会員のみを対象に開業獣医師として必要な法手続きや診療業務に当たっての心構え、勤務獣医師や看護師等職員の雇用や税制問題にわたる「開業会員研修」の二部構成とし、次の内容で行っている。

全体研修

- ①獣医師の在り方について
- ②埼玉県獣医師会会員憲章について
- ③埼玉県獣医師会定款、諸規定について
- ④獣医師倫理について
- ⑤獣医師関係法令について

開業会員研修

- ①病院経営に係る雇用、税務問題について
- ②開業獣医師に係る関係法令について
- ③集合狂犬病予防注射の実施と事務取扱について

特に経験豊富な役員の高貴な体験談や、開業会員のみならず、公務員や勤務獣医師等、新たに社会に出た会員に対する社会人として必要な納税の義務等の研修は大変関心を持たれ喜ばれている。

また、この研修に併せて特に開業会員には、埼玉県獣医師会の会員である「証」として病院掲示用の「公益社団法人埼玉県獣医師会開業会員証」(図4)も手渡され、ベテラン役員の高貴な経験談も聞く中で、会員としての誇りとその責任の重さを改めて胸に秘め、診療活動に取り組んでいる。

4 学術講習会への積極的参加

本会では狂犬病等の学術講習会を始め、各支部の主権による主に小動物診療に係る幅広い講習会を毎年20数

回開催している。これら講習会は、一流の講師陣により身近で開催され、また会員は全て無料で受講できることから、開業間もない若い新入会員は気軽に参加し、技術の向上に励んでいる。

また特に、獣医師会の重要な業務である集合狂犬病予防注射事業については、入会一年目は基本的研修期間とし、必ず本会の主催する「狂犬病実施者講習会」を受講するよう義務づけ、法令と技術のレベルアップを図った後、責任ある会員獣医師として翌年春の集合注射から参加するよう特に配慮しているところである。

5 会員相互の連携・交流を通じて

本会では、会員相互の連携と交流を深めるための親睦事業として、全員参加による支部対抗ソフトボール大会（通算 36 回開催）やボウリング大会を開催するほか、同好会主催によるゴルフ大会（同 126 回）やボウリング大会（同 23 回）、更には支部主催の懇親会や納涼祭、親睦旅行等も盛んに開催されている。

これら親睦行事については新入会員には積極的に声をかけ参加促進に努めているが、特に支部対抗のソフトボール大会に向けては日頃から早朝練習も行われており、新入会員は貴重な戦力としてだけでなく、自らもこれら親睦事業への参加を通じた会員相互の連携・交流が日常の診療活動の大きな力ともなっている。

6 結 び に

昨今、全国的にも会員数や組織率が伸び悩みの状況にある中、特に首都圏に位置する本会に於いても同様、組織基盤の充実・強化は喫緊の課題となっており、新入会員の確保とともに入会者が獣医師会組織を再認識することにより、入会して良かったと感じていただけるような魅力ある組織活動が重要であることは言うまでもない。

以上、本会の取り組みの一端について紹介したが、毎月発行する「会報」に寄稿される「新入会員の声」を見るに、①歓迎会では知事を始め、国会議員等多くの来賓に圧倒され、社会に於ける獣医師会組織の偉大さ、重要性を改めて認識した。②新入会員研修会に参加し、獣医師としてその責務の重大さに触れ、身の引き締まる思いである。③顧問税理士や弁護士から納税の義務や職員の雇用等の話も聞き大変参考になり、心強く感じたが、社会人として、また一人の経営者として責任の重さも再認識した。④開業した当初は不安もあったが、学術講習会や支部の行事に参加する中で、技術の習得や相談できる先輩に巡り合え力が湧いてきた。更には⑤地域の同業者（社長、院長）が集まって一緒に勉強や旅行、スポーツ等をするような業界は他には無い、仲間も増え、改めて入会して良かった、等の声も寄せられている。

これらの声を大切に、会員組織の一層の充実・強化により、公益法人として幅広い役割を有する獣医師会組織に対する社会の再評価と社会的地位の向上を目指して努力して参りたい。